

事業所名

ICTフィールドあおくまのロケット

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

15日

法人（事業所）理念		「いいんだよ」は魔法の言葉。まずは肩の力をふっと抜いてもらいたい。理解ある大人に囲まれた環境下で、「大丈夫」と言ってあげたい。得意なことを見つけて、自信と余裕を取り戻してほしい。そして何より「仲間」を見つけてほしい。たくさん笑ってほしい。そんな居場所こそが、どんな療育よりすぐれた薬であると感じています。			
支援方針		「楽しい！」を指標に、自己選択、自己決定、自己責任を念頭に置き、能動的に動き、自分事と捉え、体感を伴いながら学んでいきます。アイメッセージ、プロンプト等の手法を用い、自ら考え動くことができるよう援助し、自律を目指します。			
営業時間		10時00分から	19時00分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありのままの自分を表出しながら、安心して過ごすことができる心の居場所を提供します。</li> <li>・片付け、整理整頓、忘れ物等、物の管理をサポートし、身辺自立を促していきます。</li> <li>・自己を表出しながら心を開放し、満たされ、安定できるよう、子どもたちの言葉を傾聴します。</li> <li>・体温測定、手洗い、水分補給、衣類の着脱、体調観察、排泄観察、風邪の諸症状等、健康状態を管理します。また、必要に応じてマスクの着用や、咳エチケット等を促します。</li> <li>・年齢に応じて、異性との距離感について伝えていきます。</li> </ul>			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園に出掛け、鬼ごっこ、野球、サッカー、ドッジボール、ブランコ、砂遊びなど様々な活動で体を動かします。助言や環境調整により楽しめる環境を提供することで、能動的に粗大・微細運動を行い、五感、前庭覚、固有覚、ボディイメージ等、様々な感覚を育んでいきます。</li> <li>・工作、粘土遊び、スライム作り等の制作活動により、上記同様、様々な感覚を育んでいきます。</li> <li>・感覚過敏に留意し、イヤーマフやパーテーション等のグッズや環境を整え、個々の感覚特性に配慮します。</li> </ul>			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良い言動を褒め、感謝し、フィードバックして自分の強みとして認知できるよう強化していきます。</li> <li>・事前に見通しを示し、安心して活動できるよう配慮します。</li> <li>・全体指示の受信が苦手な子には、個別に対応を行います。</li> <li>・他者との物理的な距離感を具体的に示し、学んでいきます。</li> <li>・スケジュール、タイマーを活用し、時間の概念を育んでいきます。</li> <li>・音量測定器を用い、声の大きさを数字で示し、具体的に認知することで調節を学んでいきます。</li> <li>・過集中等により、自分の疲れや体の状態を認知し辛い子には声をかけ、フィードバックし、自ら気付くことができるよう援助します。</li> <li>・リフレーミングにより、物事を別の視点で捉え、ポジティブに変換し、よし悪しは表裏一体であることを伝えていきます。</li> <li>・「普通」は多数派であること、よし悪しではないことを伝えていきます。</li> <li>・将来を見据え、大事なことを取捨選択し、寛容に受け止めることで自己肯定感を育みます。</li> </ul>			
	言語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の気持ちを汲み取ることが苦手な子には、気持ちを代弁し、考える機会を作ります。</li> <li>・自分の気持ちを言語化することが苦手な子には、適切なモデルを示し支援します。</li> <li>・不適切な言葉を使う子には、適切な言葉を伝え、言い換えを促します。</li> <li>・自ら話しかけることが苦手な子には一緒に声をかけ、モデルを示し、また時には背中を押し、成功体験を積んでいきます。</li> </ul>			

	コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衝動的に行動してしまう子には、「貸して」「入れて」等声をかけ、相手の返事を待つよう促していきます。</li> <li>・「ありがとう」と感謝の言葉を伝えられるよう促していきます。</li> <li>・様々なゲームを通じて、自分の気持ちを伝えたり、交渉したり、協力したり、コミュニケーションの機会を作り、語彙力を育てていきます。</li> <li>・場面緘黙の子には、安心して過ごせる環境下で発語を必要としない表出のサポートを行い、本人なりの表出方法を認め、満たされる経験を積んでいきます。</li> </ul>	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・趣味嗜好、特性を把握し、好きな活動を通じて子どもたち同士をさりげなく繋げ、コミュニケーションの機会を作ります。</li> <li>・負けや失敗の受け入れが苦手な子には事前に見通し、対応策を伝え、また以前の成功体験をフィードバックし、セルフコントロールできるよう支援します。</li> <li>・イベントにより集団行動に参加し、ルールや時間を守り、集団に行動を合わせる経験を積んでいきます。</li> <li>・仲間意識を感じ、他者との関わりを楽しむ経験を積んでいきます。</li> </ul>	
	家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題に取り組み、保護者様の負担を軽減します。 ・学校での学習障がいへの配慮を支援します。 ・ご家庭でのお子様への対応についてご相談に応じ支援します。 ・診断名の告知について支援します。</li> </ul>	移行支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路のご相談に応じ支援します。 ・必要に応じて学校との情報共有など連携に努めます。 ・サポートブックの作成を支援します。</li> </ul>
	地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各関係機関と連携し、情報共有に努めます。 ・ハロウィン、バザー等のイベント開催により、地域の方との交流の機会を作ります。</li> </ul>	職員の質の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種会議、事業所内外での研修により、理解を深め支援方法を学びます。</li> </ul>
	<p>主な行事等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 祝日、長期休暇等、学校休業日には施設内・外での活動等様々なイベントを企画しています。HPやインスタにて掲載しておりますので、ご興味があれば是非ご覧になってください。</li> </ul>		